

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.94 消防庁舎耐震診断及び耐震工事事業			担当課	消防本部 総務課		予算費目名	款 9	項 1	目 3	
事業概要 及び目的	災害時に活動拠点となる施設の中で、旧耐震基準で建設され、建替え予定のない消防本部・中央消防署及び南消防署の耐震診断を行い、診断結果に基づき耐震性能が劣っている場合は補強工事を行うことにより大地震にも耐えうる施設とする。			成果指標	耐震補強実施率		年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
					予算額 (単位: 円)		2,888,000	3,966,585	9,500,000	0	
					決算額 (単位: 円)		2,835,000	2,629,347	4,620,000		
					従事職員数		2	2	2		
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 消防施設の耐震整備は、耐震性能を向上させ大規模災害時の活動拠点として責務を果たすだけでなく、消防力の強化につながり、ひいては震災時のみにかかわらず市民の安全・安心につながる。	従事延べ日数		52	52	60		
	節	1	安全で安心なまちづくりの推進		民間活力の導入		現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし				
	項	1	防災対策の充実		相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等						
	号	2	消防・救急体制の充実		形態は? :						

2. 進捗状況

平成 21 年 7 月 27 日記入					平成 22 年 6 月 8 日記入					平成 23 年 4 月 11 日記入								
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)									
実施計画上の予定	診断	実施計画の予定 年度終了後	診断	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	診断・設計	実施計画の予定 年度終了後	診断終了	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	診断終了	実施計画の予定 年度終了後	基本計画の 作成	★継続している事項、 未着手事項がある理由				
完了した事項	・消防本部・中央消防署の耐震診断を完了する。 ・ ・				・南消防署の耐震診断を完了する。 ・ ・				・消防本部中央消防署耐震補強基本計画の作成 ・ ・									
継続している 事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・									
未着手事項	・南消防署の耐震診断の未着手 ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・									
改善案	平成 21 年度に南消防署の耐震診断を実施する。				成果指標 実績値 本部診断 完了		達成率 0.4%		成果指標 実績値 南診断 完了		達成率 0.8%		南消防署の耐震補強の計画を検討していく。		成果指標 実績値 基本計画 の作成		達成率 1.5%	

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。					平成 21 年 7 月 27 日協議実施					平成 22 年 6 月 8 日協議実施					平成 23 年 4 月 11 日協議実施				
今後の方向性	成果の方向性	拡充																	
	成果の方向性	現状維持																	
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	縮小																	
	成果の方向性	休廃止																	
			休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性												
	★上記を選択した根拠 平成 21 年度の南消防署の診断を終え、今後は耐震工事(補強)に着手する。				★上記を選択した根拠 22 度は消防本部・中央消防署の耐震補強基本計画を策定する。具体的な補強方法を見出し、平成 23 年度の補強実施設計に向けて成果・コストは拡充していく。				★上記を選択した根拠 耐震補強基本計画の結果から耐震補強と建替えをする場合でのコスト面及び消防本部長期計画検討プロジェクトの検討結果から建替え計画を優先していくため。				平成 26 年の南消防署の耐震補強計画について検討していく。						
方向性を実現するため実施すること(改革案)	予算確保に努める。				予算確保に努める。				予算確保に努める。				平成 26 年の南消防署の耐震補強計画について検討していく。						
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。						